



子供たちにたくさんの笑顔を！ Well-being

沼津市教育長 奥村 篤



3月に開催された「ワールドベースボールクラシック」では、日本は、強力な投手陣による守りと多彩な攻撃で、見事14年ぶりに3回目の世界一の座を手に入れました。テレビの平均視聴率は40%を超えるなど、日本中が熱狂しました。

メディアには、老若男女問わず夢中になって声援する姿が映し出され、その様子にも胸が熱くなりました。特に、子供たちが憧れの選手の名前を連呼しながら声援し、得点が入ると満面の笑顔で大喜びしている姿は一点の曇りもない無邪気な子供らしい姿であり、ほっと安堵いたしました。

本市では、昨年、3年ぶりに沼津夏まつりが開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながらの開催でしたが、2日間で合計30万人の方が来場し、街は賑わいを見せました。沼津の夏空に咲く大輪の花火は市民を魅了し、心を癒してくれました。大人も楽しみにしていた夏まつり、当日、子供たちの喜びようは予想以上でした。出店で買い物をする顔も笑顔、花火を見上げる顔も笑顔、どこを見ても笑顔だらけ、もちろん、大人もそうでしたが…。本来、こうあるべきですが、沼津の夏が戻ってきたようで大変嬉しく思いました。

7月に沼津市制100周年を迎えます。3月には沼津市総合体育館が開館し、多くの市民が利用しています。今後、こいのぼりフェスティバルやSea級グルメ全国大会の開催等、様々な行事が計画され、多くの賑わいが予想されます。子供たちにとっては、沼津の良さを再発見し、自分自身が関わって社会を変えていこうとする「シビックプライド」が醸成されるととても大切な機会にもなります。子供たちが、沼津に誇りと愛着を持ち、沼津を自慢したくなる街にするためにも、市民と心をつなげて、この100周年を盛り上げていきたいと考えています。



4月1日に発足した「こども家庭庁」は、政策の基本理念の一つに「全てのこどもの健やかな成長、Well-beingの向上」を掲げています。本市でも、子供たちが安全で安心できる多くの居場所を持ち、様々な学びや体験を重ねながら、幸せな状態（Well-being）で成長できるよう、より一層「地域総がかりの教育」に取り組み、子供たちのたくさんの笑顔に出会えることを願ってやみません。

面接相談&電話相談



◎ 非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など、青少年に関する相談を直接（面接）または電話で行うことができます。

1 面接相談

◎ 相談受付時間…午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）Tel.951-3440

(1) 新規面接相談件数 1月～3月 8 件 年間合計 95 件

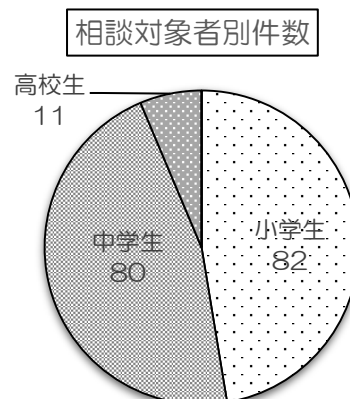
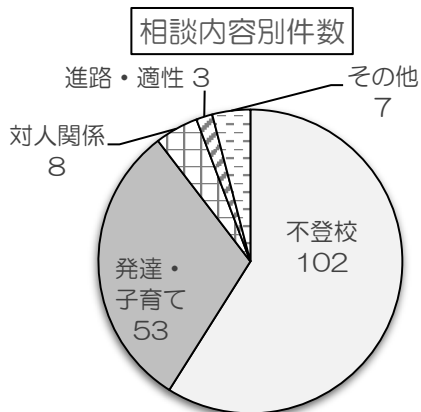
<相談内容別件数>

	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
1月	0	1	1	0	0	1	3
2月	0	1	1	0	1	0	3
3月	0	0	2	0	0	0	2
合計	0	2	4	0	1	1	8
年間	0	53	32	1	6	3	95

<相談対象者別件数>

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	成人	合計
1月	0	1	2	0	0	0	3
2月	0	1	2	0	0	0	3
3月	0	1	1	0	0	0	2
合計	0	3	5	0	0	0	8
年間	0	50	42	3	0	0	95

(2) 年間面接相談件数 173 件



(3) 年間面接相談回数 2660 回 ※相談員が面接を実施した回数

2 電話相談（愛称：やまびこ電話 951-7330）

◎相談受付時間……午前10時～午後7時 月～金曜日（祝日を除く）



<相談内容別件数>

	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言	合計
1月	0	0	0	2	0	8	0	19	27	56
2月	0	0	0	3	0	5	0	16	22	46
3月	0	1	1	7	0	2	1	26	45	83
合計	0	1	1	12	0	15	1	61	94	185
年間	0	9	2	34	0	42	7	226	418	738

<相談対象者別件数>

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学・専修生	一般成人	不明	合計
1月	0	2	0	0	1	0	23	30	56
2月	0	0	0	1	0	0	21	24	46
3月	0	4	2	1	1	0	25	50	83
合計	0	6	2	2	2	0	69	104	185
年間	0	13	12	5	2	4	260	442	738

情報コーナー

「学校に行く気はあるが登校できない…」 「いじめられているみたい…」 「心や体の発達が気になる…」 など

お子さんのことで困っていることや悩んでいることがございましたら、
青少年教育センター（055-951-3440）にご相談ください。

面接相談

原則：保護者からの電話による
申し込み **055-951-3440**

初回面接：保護者のみ

児童生徒との面接

通所面接

- ・自己決定力を身に付ける
- ・自信の回復を図る
- ★少人数での体験活動「はばたき」への参加

学校復帰・社会的自立

特別な手続きは必要ありません。電話でお申し込みください。

通所：青少年教育センターへ児童生徒が面接相談に来所することです。

- ・1回1時間を基本とする予約制
- ・原則1対1の個人面接

相談指導学級

「はばたき教室」
午前9時～午後4時

複数回の面接後、心理的回復や学校復帰、社会的自立をめざす場所。希望する通所生は、だれでも利用可。

電話相談

やまびこ電話

055-951-7330

※相談は匿名で構いません。

子どもの成長を支える講座 「そよかぜ」

専門家の知見を子育てに役立てていただけるよう**臨床心理士、言語聴覚士**による講話を行っています。

思春期における子育て、学校に行きづらさを感じている子どもの理解と対応、ことばの発達に関する内容等、子育てに役立つ内容が盛りだくさんです。



【体験活動「はばたき」】

(通称：はばたき活動)

- 1/13(金)三島散策に行こう(8人)
- 1/25(水)新春お楽しみ会(10人)
- 2/9(木)ゲーム大会(9人)
- 2/27(月)紙粘土で楽しもう(14人)
- 3/8(水)伊豆・三津シーパラダイスに行こう(12人)

はばたき活動は、1対1の面接相談とは違い、他の通所生や担当以外の職員とも関わる小集団活動です。今年度も、新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら、できる範囲で実施しました。

「三島散策に行こう」では、電車で三島まで行き、佐野美術館で刀剣の展示を見たり、三嶋大社でお参りをしたりおみくじを引いたりと楽しく過ごしました。

「新春お楽しみ会」では、トランプや坊主めくり、すごろくといったお正月らしい遊びで子どもたちのはしゃいだ姿を見ることができました。

「伊豆・三津シーパラダイスに行こう」は、今年度最後のはばたき活動となり、みんなでショーを見たり、お土産を買ったりして楽しい思い出を作りました。



【アシカショー】

【相談指導学級】(通称：はばたき教室)

昨年度の相談指導学級の開所期間は、令和4年4月7日から令和5年3月17日まででした。利用者は30人(中3：11人、中2：8人、中1：5人、小6：4人、小5：1人、小4：1人)でした。

午前に学習の時間2コマと「ふれあい」の時間を、午後に学習の時間3コマを設定しています(1コマ50分)。学習は自学自習を基本とし、困っている様子があれば、その都度担当が支援しています。「ふれあい」では、室内レクやスポーツ、体験活動、創作活動などを計画的に実施しています。小集団での活動を行うことで、人との関わり方を学んでいます。初めのうちは多くの子が周りとの接し方に戸惑いを見せましたが、回数を重ねるごとに自然と打ち解け、学年の壁を越え楽しい時間を過ごしています。

どの程度来所するか、どの時間帯を利用するかは、各自で計画を立てます。週に1度程度利用する子も、ほぼ毎日利用する子もいました。年度途中で学校に復帰できた子、この4月から学校復帰を目指す子、継続して利用する子と様々です。中学3年生は、多くの子が希望の高校等に合格することができました。

今年度も昨年同様、学習支援と「ふれあい」での小集団活動を通して、心理面の回復を促進し、社会的自立と学校復帰に向け支援していききたいと思います。



青少年教育センターの活動予定(5～7月の主な活動) *天候や感染状況等により、変更することがあります。

はばたき活動	補導関係
5月10日(水) びゅうお見学	5月12日(金) 補導委員会代表者会
5月24日(水) 公園で遊ぼう	5月15日(月) 新任補導委員研修会
6月7日(水) 創作(点つなぎ)	5月19日(金) //
6月21日(水) 買い物ツアー	5月26日(金) 感謝状贈呈式
7月5日(水) 三島散策(佐野美術館)	6月23日(金) 補導委員会代表者会
6月23日(水) そよかぜ	7月4日(火) 夏季一斉少年補導、立入調査
中央街頭補導	7月10日(月) 青少年非行・被害防止街頭キャンペーン
5月 23(火) 24(水) 30(火)	7月29日(土) 沼津夏まつり特別補導 ~30日(日)
6月 2(金) 7(水) 9(金) 13(火) 16(金) 20(火)	
7月 5(水) 7(金) 18(火) 19(水) 21(金) 26(水)	



補導の状況

1 1月～3月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

学 職 別 区 分		性 別	小学生	中学生	高校生	その 学生他	有職少年	無職少年	計	年間累計
行 為 種 別	飲 酒	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	喫 煙	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	薬 物 乱 用	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	夜 間 は い か い	男	0	12	2	0	0	0	14	46
		女	0	0	2	0	0	0	2	13
	不 良 交 友	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	怠 学 ・ 怠 業	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゲームセンター入場	男	14	11	38	0	0	0	63	197
		女	3	3	45	0	0	0	51	199
	パチンコ店入場	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	カラオケ店入場	男	0	0	0	0	0	0	0	8
		女	0	0	0	0	0	0	0	9
自転車の暴走行為	男	0	0	0	0	0	0	0	2	
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	
自転車の二人乗り	男	0	0	0	0	0	0	0	8	
	女	0	0	0	0	0	0	0	2	
自転車の無灯火	男	0	0	0	0	0	0	0	24	
	女	0	0	2	0	0	0	2	6	
危 険 な 遊 び	男	1	0	0	0	0	0	1	13	
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	
そ の 他	男	0	0	0	0	0	0	0	7	
	女	0	0	0	0	0	0	0	4	
計		男	15	23	40	0	0	0	78	305
		女	3	3	49	0	0	0	55	235
男 女 合 計			18	26	89	0	0	0	133	540

法令違反・ く犯行為に 関する連絡 ※	家庭・学校等	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	他 機 関	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0	0

※く犯行為……将来、犯罪に発展するおそれのある行為

愛 の 声 か け 運 動	男	36	42	20	3	4	0	105	765
	女	40	25	16	0	0	0	81	606
男 女 合 計		76	67	36	3	4	0	186	1371

【補導記録簿より】

- ・春休みに入り、大型商業施設で、多くの小中高校生を見かけたが、保護者と一緒だったり、私服だったりして、声かけの判断が難しかった。
- ・中学校の下校時間帯での活動では、多くの中学生に声かけができた。
- ・地区小中学校の卒業式実施日の夜、夜間警戒巡回を入念に行い、備品等の状態も確認した。
- ・公園内の雑草が刈られてきれいに整備され、道路からの見通しがよくなった。
- ・大平に抜けるトンネルが開通し、交通量が増えるので、今まで以上に注意が必要。
- ・下校途中に、腹痛で休んでいた中学生に声かけ。家庭に連絡がつかなかったため、学校に連絡し、担任に対応してもらった。その生徒と同じ学級の保護者がいたこともあり、補導委員としていい連携が取れた。
- ・PTAも参加して補導活動を行い、自転車無灯火の中学生男子に声かけ。
- ・プラサヴェルデ屋上には高校生のカップルが多く、気を配る必要がある。



2 少年補導委員の参加人数・補導回数・補導状況

	参加人数						回数				状況	
	市職員	教員	補導委員代表	地区警察	補導委員区	計	午前	午後	夜間	計	の不良行為等の確認	愛の声かけ
1月	3	0	0	1	200	204	1	8	32	41	15	54
2月	10	5	6	1	198	220	1	8	37	46	75	55
3月	11	11	10	1	221	254	0	8	41	49	43	77
合計	24	16	16	3	619	678	2	24	110	136	133	186
年間	111	72	119	7	2536	2845	6	105	393	504	540	1371

補導の目

補導活動について



【中央街頭補導 仲見世付近】

前第三地区補導部長 川口 和夫

私が沼津市少年補導委員になってから、20年以上経過します。今と20年前とでは、生活環境及び風潮が著しく変化しました。私が着任当初は、ゲームセンターで多数の少年が虜れ、補導活動に行くと、少年たちに囲まれて威嚇されましたが、先輩補導委員の優しい声かけと毅然とした態度に少年たちの威勢が低調になり、何もなく少年たちが解散したことを、今でもはっきりと覚えています。

最近では、7、8年ぐらい前からインターネットの普及により、インドアで過ごす少年がますます増加し、公園や海岸、スーパーなどのスペースに少年たちが集まらなくなり、夜の補導活動中も子供たちを見かけることが少なくなりました。今日は人がいるのかと思ったら、外国人のグループがバーベキューをしていたりしました。声かけをして、最後の火の始末と片付けをお願いしたぐらいが最近の現状です。

補導委員の中には、活動が無意味ではないか？ という人もいて、補導時間を変更したり、不審者の発生場所にパトロールに行ったりするなど、いろいろと活動内容に変化をつけて試みています。子供たちの健全育成に少しでも手助けになるよう、継続・継承が必要だと思います。

不審者については、我が校区での発生率が高く、自治体で情報収集して市に報告していますが、なかなか効果が上がりません。登下校時の防犯パトロール員も頑張っていますが、限度があると思います。



沼津市では、青少年の健全育成を推進事業に掲げて半世紀が経過し、これからの補導活動の趣旨や内容等を、現代、未来に向け、改革・見直しを検討する時期にきたと思います。最近のSNSによる悪質な犯罪は、防犯上なかなか難しい課題だと思います。行政、学校、地域、家庭が一丸となって、よりよい補導活動のあり方及び実施方法を検討し、現代に合った有意義で有効な補導活動の実現を期待します。